

各位

上場会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所
 代表者 代表取締役社長 山田 晃久
 (コード番号 4351)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 湯澤 邦彦
 (TEL 045-325-3933)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月8日付「平成23年12月期第3四半期決算短信」において公表しております平成23年12月期の業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失を下記のとおり計上いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,600	280	286	174	40.97
今回修正予想(B)	2,179	△60	△57	△320	△75.18
増減額(B-A)	△421	△340	△343	△494	
増減率(%)	△16.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	2,437	13	26	45	10.69

平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,186	194	207	122	28.64
今回修正予想(B)	1,641	△209	△198	△404	△95.05
増減額(B-A)	△545	△403	△405	△526	
増減率(%)	△24.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	2,228	7	36	61	14.38

修正の理由

●業績予想の修正について

【連 結】

連結の売上高につきましては、不良債権ビジネスの市場において、中小企業金融円滑化法が1年間延長され、金融機関からの債権売却のバルクセールが引続き低調に推移し買取価格が高騰したこと、及び東日本大震災が、広域かつ甚大で深刻な被害を与えたこともあって債権の買取り・回収が計画を予想以上に下回る結果になりました。

サービス事業は、上記市場等の環境を反映して、バルク債権について大口の回収が無く、特に、不動産担保付バルク債権の回収は、計画未達となり、前年実績を205百万円下回りました。

バックアップサービスの回収受託は、計画を上回る実績を残しましたが、前年実績に比べ333百万円減少しました。

また、第3四半期から着手していたコンサルティングを伴う大型再生案件の債権買取りは、債権者との話し合いがまとまらず売上計上までに至りませんでした。

以上の結果、サービス事業全体では、計画未達に終わり、前年比510百万円減少することとなりました。

不動産ソリューション事業は、仲介案件は不調でしたが、昨年6月に購入した借地権負担付土地(底地)の借地人等への売却が当初計画を大きく上回る441百万円という好調な実績を残すことができ、前年実績に比べ326百万円増加しました。

その他事業の信託事業においては、新規大口の金銭信託の受託ができなかったものの、すでに信託契約を締結している先からの管理報酬、追加信託等の報酬は引続き堅調であり、知名度も徐々に向上し、引き合いも増加した結果、前年実績は上回ることができましたが、計画に対しては未達で終わりました。

また、その他の測量事業においては、第1四半期期首から業務の一部を派遣業務に切替えたため、前期に比較し売上高は減少しましたが、前期以前に受注した大口案件の仕掛部分がほぼ予定通りに完了し、計画を大きく上回りました。

派遣事業は、派遣先の業務が震災の影響で、不動産の動きが鈍ったことに起因して受託量が計画通り伸びなかったため、当初の計画した派遣人員、派遣時間に達せず、873百万円と計画及び前年実績を下回りました。

販売費・一般管理費におけるバルク債権に対する貸倒引当金繰入額は6百万円と前年実績183百万円に比べ大きく減少

しましたが、上記、サービス事業の売上実績が低調に推移したため、営業利益につきまして計画を達成できませんでした。経常利益につきましても同様の理由によるものであります。当期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損及び投資損失引当金繰入額を計上したため計画を達成できませんでした。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,179百万円(前年同期比16.2%減)、営業利益△60百万円(前年同期13百万円)、経常利益△57百万円(前年同期26百万円)、当期純利益△320百万円(前年同期45百万円)と予想しております。

したがって、平成23年11月8日付「平成23年12月期第3四半期決算短信」において発表の通期の連結業績予想に関しましては上記のとおり売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正いたします。

【個 別】

個別の業績予想につきましても、同様の理由により記載のように通期の予想数値を修正いたします。

●特別損失の計上について

【連 結】

投資有価証券について、投資有価証券評価損及び投資損失引当金を合計131,500千円計上いたします。

【個 別】

投資有価証券について、投資有価証券評価損及び投資損失引当金を合計131,500千円計上いたします。

以 上